

2009年3月期 第3四半期決算電話説明会 質疑応答

実施日：2009年2月5日(木)

当社説明者：執行役員経理部長 横田明宜 IRグループマネージャー 上田孝一(司会)

以下は、決算電話説明会における主な質疑応答を取りまとめたものです。

Q1) 今期発生した東京ディズニーランドホテル、シルク・ドゥ・ソレイユ シアター東京の開業前準備費用(37億円)は、来期発生しないと考えてよいか。

A1) 来期は発生しないため、来期の費用減の要因となる。

Q2) 中期経営計画で示している東京ディズニーランドホテル、シルク・ドゥ・ソレイユ シアター東京の成長のイメージ(2つの施設あわせて2011年3月期で売上高200億円レベル、営業利益25億円レベル)に変更はないか。

A2) 現時点では、中期的な見方に変更はない。

Q3) 中期経営計画で示している設備投資額・減価償却費(2011年3月期で設備投資額400億円レベル、減価償却費400億円レベル)に変更はないか。

A3) 現時点では、中期的な見方に変更はない。

Q4) 1月のテーマパーク入園者数・ゲスト1人当たり売上高の状況について教えて欲しい。

A4) まず、1月の入園者数のボリュームは小さいということをご理解いただいたうえで、現時点では今回の修正予想に対して、若干上回って推移している。また、ゲスト1人当たり売上高の傾向については、これまでの傾向から変化はない。

Q5) 11月発表予想に対して、第3四半期累計期間で約80億円の増益、第4四半期で約25億円の減益とのことだが、第4四半期の減益要因について教えて欲しい。

A5) 人件費の増加が約15億円、第3四半期からの費用の時期ずれが約5億円、その他で約5億円である。なお、人件費の増加の主な要因は、業績賞与である。

Q6) 通期のテーマパーク入園者数予想を2,710万人に変更したが、天候が与えた影響はあったのか。また、来期、25周年イベントの反動があると思うが、入園者数のイメージを教えて欲しい。

A6) 悪天候の日数については、前年と大きな差はなかったものの、台風が来なかったというポジティブな要素はあった。来期については、周年イベントの翌年のため、入園者数の減少はやむを得ないと考えている。更なる景気の悪化も想定しており、2,500~2,600万人の間と慎重なスタンスである。

以上